

第121号 平成31年 2月14日 発行

- ポツリヌス療法のご紹介
- 看護研究発表会報告
- 院内サークル活動報告
- 安全Topics
- 部署紹介リレー【手術室】

IWAKUNI
MEDICAL
CENTER

地域医療支援病院

岩国市医療センター
医師会病院だより

<http://iwakuni-med.jp>

病院目標

みんなの力で

地域医療を

支えよう



岩国市医療センター医師会病院

〒740-0021

岩国市室の木町3丁目6-1 2

☎ (0827) 21-3211 (代表)

E-mail : info@iwakuni-med.jp

当院では、脳卒中の後遺症などによる手足のつっぱり(痙縮)の
治療に有効な「ボツリヌス療法」を受けることができます。

院長 茶川 治樹

《 期待できる効果 》

- 手足の筋肉がやわらかくなり、曲げ伸ばしがしやすくなることで、日常生活動作の制限が軽減されます。(手を洗いやすくなる、装具がつけやすくなる、くつが履きやすくなる、など)
- リハビリテーション(ストレッチ含む)を行いやすくなります。
- 関節が固まって動きにくくなったり、変形するのを防ぎます(拘縮^{こうしゆく}予防)。
- 痛みをやわらげる効果が期待できます。

介助の負担を軽減することも期待できます。

- 着替えの補助や衛生ケアがしやすくなります。



ボツリヌス療法とは、ボツリヌス菌が作り出すボツリヌストキシンと呼ばれるたんぱく質を有効成分とする薬を筋肉内に注射し、痙縮の改善を図る治療法です。

ボツリヌストキシンを筋肉内へ注射すると、筋肉の緊張をやわらげ痙縮を改善することができます。

ボツリヌス菌そのものを注射するわけではないので、ボツリヌス菌に感染する危険性はありません。

現在、その他にも保険適応となっている病気は脳卒中による眼瞼けいれん、片側顔面けいれん、痙性斜頸があります。



※ 痙性斜頸^{けいせいしゃけい} : 首や肩の筋肉が意志とは関係なく収縮し、首が傾いた状態になること。

治療の開始判断は医師がおこないます。
治療の回数には個人差があります。

平成30年度 医師会病院 看護研究発表会 開催レポート！！

平成31年1月25日、医師会病院看護部の新年恒例行事である「看護研究発表会」が開催されました！

1. 大腿骨骨折患者家族の退院後再転倒に対する不安と看護師の退院支援の関わり

2階病棟：○森本大一 稲垣麻衣子 栗林泰子 原田舞

2. 回復期リハビリテーション病棟における口腔ケア実践の効果

～摂食機能療法が非介入の患者に口腔アセスメントツール(OHAT)を活用して～

リハ棟：○林祐一郎 末本蘭子 野村敦子 *伊茂治吉孝 弥永由紀

3. A病棟での口腔ケアにおける定着への取り組み

4階病棟：○栄愛梨 平岡咲希 大久保純奈 山本剛大

4. PNS(パートナーシップナーシングシステム)の実践により地域包括ケア病棟の看護師が得た退院支援の学びと現状

3階病棟：○田中由佳 田中沙希 ジオラ道子 三浦友実 *江濱愛美

5. 上部内視鏡検査 当日の摂取状況の調査

外来：○福田由美 *對馬真由美

発表会プログラム(‘ω’)



毎年、研究テーマは各部署の特徴や患者さんのニーズにマッチしたものが挙げられており、今年の看護研究も、『口腔内環境に応じた口腔ケア介入の方法』や『病床機能に応じた退院指導の特性や留意点』など明日からの業務に活かしたい研究結果をだなぁと感じました！

当院の看護研究は病棟単位でエントリーし、経験年数3～5年目くらいの看護師が中心となって研究に取り組むことが多いのですが、**部署全員が協力して研究を進めていく**ようにしています。新人看護師は看護研究に関心を持ち、研究手順や分析方法を研究メンバーと共に学びます。そして**中堅層の看護師はかつての研究経験者として**内容にアドバイスをし、病棟全体で研究活動できるように盛り上げ役として参加します。

そんな感じに、**病棟全体で頑張った1年間の集大成**がこの日だったわけで…。大変緊張されていた研究メンバーの皆さん、研究参加部署の皆さん、本当にお疲れ様でした(;▽;)



みなさん、お疲れさまでした！！

また、看護研究全体のサポートを行ってきた**教育委員会看護研究チーム**の皆さんも、1年間お疲れさまでした。

あるき隊活動報告（英彦山 護摩法要・登頂編）

昨年11月3日からの連休を利用して英彦山に登って来ました。院内にアナウンスしましたが希望者はなく、今回は4人での山登りとなりました。

隊員募集中です。入会無料、おためしもOKです。春は、3月10日に日帰りで里山を登る予定です。興味のある方は総務課にご連絡ください。



英彦山は福岡と大分の県境にあり、山形の羽黒山、奈良の熊野大峰山と並ぶ日本三大修験山のひとつで、往時をしのぶ史跡が残っています。登山のための下調べをしていると、私たちが計画していた11月3日には午前10時半から英彦山神宮の護摩焚きが予定されているのわかりました（英彦山の秋を彩る豊前坊の秋の護摩焚き、柴燈大護摩供：野外で行う大規模な護摩法要のことで天下国家安穩、家内安全、五穀豊穰などを祈願します）。そのため当日は午前5時に岩国を出発し、午前9時半までに銅鳥居（英彦山神社の入り口）に到着しました。多くの参拝客は土産物屋や旅館の並ぶ道を抜け、杉の大樹を連ねた参道の階段を登り英彦山神宮奉幣殿に至ります。あるき隊のモットーは歩くことですが、スロープカーに乗りたくて銅鳥居をくぐらずに500mほど離れた場所にある花駅に向かいました。スロープカーはゆっくりとしか動きませんが、あっという間に奉幣殿のある神駅に着いた印象でした。そこから30-40段登ると境内なのですが、石段を登らなくても境内まで上られるエレベーターがあり、膝が悪い高齢者でも気軽に参拝できるシステムにはびっくりしました。



その後、護摩法要を見学し、思い思いの願い事を書いた護摩を燃やして残った炭の上を祈祷してもらったお札を持ち、神妙に裸足で炭の上を歩いて渡り、本殿を参拝しました。熱いと思っていた炭の上は暖かいだけで意外と心地よく歩けましたが、普通の地面を裸足で歩いて靴を脱いだ場所まで戻るのはとても痛くて困りました。

護摩法要に参加した後、本堂の前の鳥居を抜け石碑を目印に午後1時過ぎより登山道を登り始めました。勾配の急な尾根沿いの道を登り、鎖場を超えると、中津宮が現れます。その先は産霊社まで干本杉や稚児落としなど、英彦山の歴史を感じる道をたどっていくことになります。ただ、余裕の少ないあるき隊はそういった景色に思いをはせることもできずに登りました。石の鳥居を過ぎ、クマザサや杉小立を貫く石段を上がっていくと英彦山上宮の社殿がある中岳山頂(1188m)に至ります。登りきってみると今回に備えて三倉岳(大竹市)を登っていたため前回よりは楽に登ることができたと感じました。山頂に着いた後はみんなで記念撮影をし、境内で買った海苔のないおにぎり2個と2切れのたくあんで遅い昼食をとりました。山で食べるお弁当はおにぎりだけなどいつも簡単なものですがとてもおいしく感じるのは不思議です。あるき隊は休憩をとると元気になり、素晴らしい眺望と色づき始めた紅葉・黄葉を満喫し帰路につきました。

（次回は 英彦山 望雲台編です）

（文責 貴船 雅夫）



～フレイルを知ることからはじめる健康生活～

フレイルとは、加齢に伴い筋力などのからだの機能や生理的な機能が低下して、心身ともに活力が低下した状態のことをいいます。高齢者は、フレイルの段階を経て**要介護状態**になります。健やかな老後を過ごすためには、フレイルを防ぎ健康寿命をできる限り延ばすことが大切です。

◎まずは自分自身でフレイルをチェックしましょう！

下記の5つの質問に答えることで、フレイルかどうかをチェックすることができます。5つの質問のうち3つ以上に当てはまる場合は、すでにフレイルの可能性がります。また、1～2つに当てはまる場合でも、フレイル予備軍の「**プレフレイル**」が疑われます。まずは、あなたの体の状態をチェックしてみましょう！



フレイルのセルフチェックシート

| | 1点 | 0点 |
|--------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| ● 6か月間で2～3kgの体重減少がありましたか？ | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| ● 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか？ | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| ● ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか？ | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| ● 5分前のことが思い出せますか？ | <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> はい |
| ● (ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがありましたか？ | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| 合計 | 点 | |

いくつ当てはまりましたか？

各項目1点（最高5点）で、

1～2点で「**プレフレイル(フレイル予備軍)**」

3点以上で「**フレイル**」

となります。

詳しくは**今年の医師会病院だより9月号**をご覧ください



医師会病院看護部 部署紹介リレー第7弾 手術室

手術室概要 & 平成 29 年度実績

手術室数：2室

平成29年度年間手術件数 550件(泌尿器科検査含む)

<手術内訳>

整形外科 530件

(脊椎手術127件・骨折手術(人工骨頭挿入含む)256件・人工関節手術17件・その他130件)

その他 20件

(腹膜透析用カテーテル留置・CVポート留置・泌尿器科検査など)

※ 毎週水曜日 山口大学泌尿器科医師の診察あり

※ 膀胱鏡や前立腺生検などの検査は、設備の都合上手術室を使用しています



手術室スタッフ

看護体制：6名+病棟からの応援ナース1名(不定期)

看護師長 1名(感染管理認定看護師・第2種滅菌技士)

主任看護師 1名(弾性ストッキングコンダクター)

看護師 3名+病棟からの応援ナース1名

看護補助者 1名

麻酔科医：常勤医師2名+非常勤医師(水・金曜日に山口大学から各1名) <平成31年2月11日 現在>



中央材料室

設備：高圧蒸気滅菌器2台・過酸化水素プラズマ滅菌器1台・自動ジェット式超音波洗浄装置1台

<中央材料室の役割>

院内の器材・手術器械の一次洗浄から滅菌までを行っています。患者さんに安全・安心な医療を提供するために、各種装置のモニタリングを行い、洗浄・滅菌に関する質保証に努めています。また、手術で使用する業者からの貸し出し手術器械は、メーカー・医師と連携を取りながら、術前洗浄を行った後、滅菌をしています。



平成 30 年度 手術室 部署目標

1. 得た情報を共有し、手術で起こりうるリスクに対して準備を行い、患者に **安全・安心・安楽な手術看護** を提供する
2. 器械出し看護師として、**安全で円滑な手術を術者とともに展開する**



Q: 手術室ではどのような業務を行っているのですか？

手術室では手術を受ける患者さんに安心と安全と安楽を提供できるよう、そして円滑に手術が遂行されることを常に考えて業務を行っています。また、医師・看護師のチーム医療を大切にしています。

具体的な業務としては、手術の際、医師に器械出しをする『器械出し看護師』と、安全に手術が行えるように責任をもつ『外回り看護師』とに分かれて業務をしています。『器械出し看護師』は、手術の内容に合わせて術前に器械の準備を行い、手術中は必要な器械を迅速に、かつ適切に医師に渡すように努力しています。

『外回り看護師』の業務は、患者さんの情報を知るところから始まります。手術中、患者さん個々の情報を基に体温管理や手術体位による皮膚・神経障害の予防などを行い、不測の事態を想定し万全の体制で手術に臨めるよう努力しています。

また、中央材料室での洗浄・滅菌業務も、手術室看護師の重要な業務です。



Q: 部署目標に関して、具体的に取り組んでいることはありますか？

手術を受けるということは、ほとんどの患者さんにとって未知で不安なものです。手術を受けるすべての患者さんとそのご家族に、”安全で安心できる手術看護を提供すること“をモットーに日々頑張っています。

全身麻酔での手術を受けられる患者さんに対しては、術前に病棟訪問を行っています。パンフレットを使用して手術室で行う事を説明し、不安や疑問を受け止め、対応をすることを心掛けています。またその際に得た情報は、カンファレンスで共有し、手術で起こりうるリスクを予測して手術に備えるようにしています。



Q: 最後に。手術室の『ここが自慢！』を教えてください(‘ω’)/

ここぞというときの 俊敏性、集中力、一致団結 はほんとにすごいです。

手術室の看護師さんへ … 突撃インタビュー！！

①「お休みの日は何をしていますか？」

Aさん「日帰りで旅行とか行きますよ、大阪とか！」

Bさん「泊まってゆっくりしてくれば良いのにね。若い子は元気よねえ。」

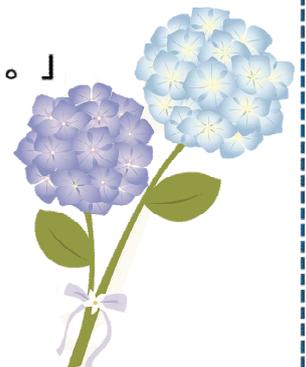
Aさん「…そんなBさん、昨日までどこに行かれてました？」

Bさん「スキー？」

Aさん「元気ですねえっ(笑)」

②「同じ部署の仲間へ、メッセージを！！」

仲良く元気に！これからもよろしくお願いまーす (#^.^#)



優しく仕事熱心な浜師長さん、少ない人数で手術中材業務を支えてくれる頼もしいスタッフの皆さん、ご協力いただきありがとうございました！



津川 智一 総務課長が「QCサークル推進石川馨賞」を受賞しました！

(表紙)

『QCサークル推進 石川馨賞』とは

小集団改善活動推進者として、QCサークル活動の基本理念の実現に向け、院内および院外の双方において積極的な推進活動に取り組み、顕著な貢献をされ、かつ、今後の活動を期待される推進者を表彰する目的で創設された賞です。



岩国市医療センター医師会病院 外来診療担当医師

(午前中のみ)

平成31年2月1日現在

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | |
|------------------|-------------------------|---------------|---------------|-------------------------|---------------|---------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 総合診療科 | 木村 一紀 (午前) | | | | | | *毎週月曜日(9時~12時半)は 木村 一紀が診療を行っています |
| 消化器内科 (肝臓) | | | 川口 憲二 | 川口 憲二 | | | *救急と予約診療以外は 午前中 をお願いします |
| 糖尿病内科 血液内科 | | | | 佐々木 輝昌 | | | *毎週木曜日(9時~16時半)は 佐々木 輝昌が外来診療を行っています *糖尿病教室は、毎週月・木曜日、第2・4金曜日の15時から行っています |
| 腎臓内科 | 福田 雅通 | 福田 雅通 | | 福田 雅通 | 福田 雅通 | 福田 雅通 | *血管造影は、金曜日の午後に行っています |
| 泌尿器科 | | | 田原 正則 (午後) | | | | *毎週水曜日(13時半~16時半)は 田原正則が診療を行っています |
| 小児科 | 福田 雅通 | 古賀 まゆみ | 休 診 | 福田 雅通 | 古賀 まゆみ | 福田 雅通 | |
| 緩和ケア内科 | | 中藤 嘉人 (午前) | 中藤 嘉人 | 中藤 嘉人 (午前) | | | *初診の場合は、必ず 予約が必要です |
| ﾊﾞｲｸﾘｯｸ内科 麻酔科 | 熊野 健一 (午前) (再診のみ) | 熊野 健一 (午前) | | | 熊野 健一 (午前) | (第1・第3) 原田 英宜 | *毎週 火曜日・金曜日(9時~12時半)は、ﾊﾞｲｸﾘｯｸ(痛みの外来)を行っています 毎週 火曜日・金曜日は、予約も可能です 急患や火・金曜以外の診療については、医療連携室(21-3225)又は直接 熊野健一へお問い合わせください *毎月 第1・第3土曜日(9時~12時半)は、原田 英宜によるﾊﾞｲｸﾘｯｸを行っています 毎月 第1・第3土曜日は完全予約制ですので 医療連携室(21-3225)へ詳細はお問い合わせ下さい |
| 脳神経内科 | | | 金谷 雄平 (午前) | | | | *毎週水曜日(9時~12時半)は 金谷 雄平が診療を行っています (対象年齢：16歳以上) *完全予約制ですので医療連携室(21-3225)へ詳細はお問い合わせ下さい |
| 整形外科 | 貴船 雅夫 | 貴船 雅夫 | 土田 聖司 | 土田 聖司 | 清水 元晴 | | *救急と予約診療以外は 午前中 をお願いします |
| 脳神経外科 | | | | | | (第1・第3) 末廣 栄一 (第2) 井本 浩哉 | *毎月第1・3土曜日(10時~12時半)は 末廣 栄一が外来診療のみ 行っています *毎月第2土曜日(9時半~12時)は 井本 浩哉が診療(機能的脳外科)を行っています(要予約) *変更になることがありますので、事前にご確認ください |
| 放射線診断科 | 交替 | 田辺 昌寛 | 横田 佐和 | 交替(午前) 岡田 宗正 (午後) | 交替 | | *完全予約制ですので、放射線科受付(21-3224)へ詳細はお問い合わせ下さい *火曜日・水曜日は、診療対応(10時~16時)で行っています *血管造影は、木曜日の午後に行っています |
| リハビリ科 (午前中のみ) | 茶川 治樹 | 松本 彰紘 | 茶川 治樹 | 森脇 宣允 | 柳居 理絵子 | 森脇 宣允 木村 浩彰 | *初診の場合は、必ず 予約が必要です |
| 療育 (午前中のみ) | 古賀 まゆみ | 茶川 治樹 | 古賀 まゆみ | 古賀 まゆみ | 茶川 治樹 | 茶川 治樹 | *完全予約制ですので療育センター(24-0168)へ詳細はお問い合わせ下さい |

※ 土曜日の午前中は、病院医師1名の当直体制となっています

★ 救急は、この限りではありません

★ 紹介状は必ずお持ち下さい



※ 市外局番 ☎ (0827)

編集・作成：岩国市医療センター医師会病院 院内広報委員会